

会社概要 (2025年3月31日現在)

社名	JBC Cホールディングス株式会社 (JBCC Holdings Inc.)
本社所在地	〒104-0028 東京都中央区八重洲二丁目2番1号 東京ミッドタウン八重洲 八重洲セントラルタワー13階
設立年月日	1964年4月1日
資本金	47億13百万円
グループ社員数	1,949名 (有期社員を含む連結ベース)
ホームページ	https://www.jbcchd.co.jp/ir/

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月に開催
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 電話 042-204-0303(通話料有料) 受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日等を除く) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告掲載URL	https://www.jbcchd.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない 事故、その他のやむを得ない事由が生じた 時には、日本経済新聞に公告いたします。)



JBCCホールディングス株式会社

株主通信 第61期

2024年4月1日～2025年3月31日

CHALLENGE 2026

Contents

トップメッセージ	1
決算ハイライト	2
中期経営計画「CHALLENGE 2026」進捗状況	3
お客様事例 クラウド&セキュリティ	4
JBC Cグループで働く社員に聞く	5
株主様とのコミュニケーション	7



証券コード: 9889 (東証プライム市場 情報・通信業)



株主の皆様へ

3期連続の増収増益、過去最高益を更新 中期経営計画目標を上方修正し 継続成長に向けてチャレンジを続けます

J B C Cホールディングス株式会社

代表取締役社長 **東上 征司**
SEIJI HIGASHIUE

日頃より当社グループをご支援いただき、ありがとうございます。

3カ年の中期経営計画「CHALLENGE(チャレンジ)2026」の初年度となる2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)は、注力事業であるクラウドとセキュリティが業績を大きく牽引し、3期連続の増収増益を達成、営業利益は前期に続き過去最高益を更新しました。

中期経営計画では、市場において当社グループの強みをより発揮できる注力領域を国内の中堅・大手企業に定め、お客様のDXを加速し経営課題に応えるビジネスを展開しています。日本企業が直面するIT人材不足の課題やコスト意識の高まりに対応したマネージドサービスの提供に加え、お客様のグループ企業も視野に入れたセキュリティ対策や、ITガバナンス強化の支援サービス等を拡充しました。クラウドとセキュリティの包括的な提案により、中堅・大手企業を中心に案件規模の大型化につながり、受注が拡大しました。

超高速開発は、一部の大型プロジェクトで遅延が発生していましたが、業績にマイナス影響を与えていたプロジェクトの対応が2024年末までに全て完了し、事業は復調傾向にあります。今後は、事業の安定化に努めながら、当社独自のアジャイル開発手法「J B アジャイル」の強みを最大限に生かし、お客様の高いシステム要求に確かな品質とスピードで応えていけるよう、取り組みを進めてまいります。

中期経営計画がスタートして1年余り、注力事業(クラウド、セキュリティ、超高速開発)の着実な成長と同時に、人材への投資も計画通りに進捗しています。当社グループは、これまでも時間、場所、年齢など、働く上での壁を取り払い、業界をリードする働き方を実践してきました。柔軟な働き方をベースに、採用、育成はもちろん、魅力ある人事制度や施策を展開し、社員一人ひとりが成長を感じながら、やりがいを持って長く働ける職場環境をつくっています。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算概況 (2024年4月1日～2025年3月31日)

事業構造変革により3期連続の増収増益 営業利益、前期比39.2%増の大幅成長

通期業績 (百万円) ※表中の()内は利益率

	2024年3月期 実績	2025年3月期 実績	前期比
売上高	65,194	69,868	+7.2%
営業利益	4,422 (6.8%)	6,155 (8.8%)	+39.2% (+2.0pts)
経常利益	4,549 (7.0%)	6,314 (9.0%)	+38.8% (+2.1pts)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,187 (4.9%)	4,603 (6.6%)	+44.4% (+1.7pts)

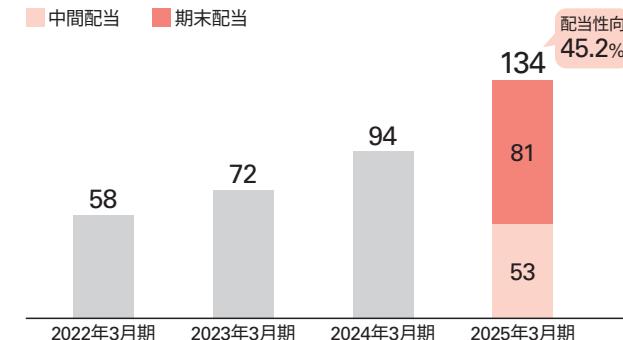
2025年3月期(2024年4月1日～2025年3月31日)の業績は、売上高69,868百万円(前期比7.2%増)、営業利益6,155百万円(同39.2%増)、経常利益6,314百万円(同38.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益4,603百万円(同44.4%増)となりました。中期経営計画において成長の要と位置付けるクラウド、セキュリティの大幅な成長が事業構造変革を加速し、全指標において予想値を上回る結果となりました。営業利益率は8.8%(前期比2.0ポイント増)に上昇しています。

詳しくは、「2025年3月期 決算短信」をご参照ください

株主還元

期末配当を上方修正(+10円) 年間配当、過去最高の134円

1株当たり配当金の推移 (円)



中期経営計画では、利益率の向上および資産効率を高めることで健全な財務基盤を維持し、長期的な株主還元の実現(配当性向45%以上)を目指しています。2025年3月期の業績や財務状況などを勘案し、2025年3月期の期末配当を前回発表予想(2024年10月31日公表)の71円から10円増額し81円に修正しました。これにより、年間配当金は、すでに実施済みの中間配当金53円と合わせて134円となります(配当性向45.2%)。

また、当社株式の流動性向上と投資家層の拡大を図ることを目的に、2025年4月1日を効力発行日として1対4の株式分割を実施しました。2026年3月期は、分割後1株当たり35円(中間17円、期末18円)の年間配当を予想しています。

中期経営計画「CHALLENGE 2026」進捗状況

中期経営計画「CHALLENGE 2026」では、注力事業をクラウド、セキュリティ、超高速開発の3事業に洗練・集約し、それぞれの事業を進化・深化することで事業構造の変革を加速し、継続的な成長と高い収益性の実現を目指します。関税や為替など外的要因による経済の不透明感が懸念されるものの、国内の中堅・大手企業のIT投資意欲は旺盛で、クラウド、セキュリティを中心に引き続き成長が見込まれます。2025年3月期の業績を踏まえ、中期経営計画の目標値(2027年3月期)を上方修正しました。

中期経営計画(2027年3月期)目標

	修正前 (2024/5/9公表)	修正後 (2025/5/12公表)
売上高	720億円以上	745億円以上
営業利益率	10%以上	11%以上
ROE	17%以上	20%以上
配当性向	45%以上	45%以上

詳しくは、「中期経営計画の上方修正に関するお知らせ」をご参照ください



TOPICS

人的資本経営品質2024 シルバー賞を受賞

人的資本経営と開示に関する国内最大規模の調査「人的資本経営品質調査」において、2024年度はゴールド賞に次ぐシルバー賞に、JBCGグループを含めた20社が認定されました。JBCGグループにおいては、特に「企業文化への定着のための取り組み」「多様な人材が活躍できる仕組み」「比較可能性のある人的資本開示への対応」の項目が高く評価されました。

人的資本経営品質
2024

受賞のお知らせ



注力事業の概況 ※売上高は2025年3月期末実績

クラウド

- 売上高：前期比47.3%増
- 過去最大の新規受注を獲得、案件大型化が進む
- マルチクラウド対応、高付加価値サービスを拡充

セキュリティ

- 売上高：前期比35.4%増
- 過去最大の新規受注を獲得、案件大型化が進む
- サイバー攻撃等、セキュリティインシデントの対応増加

超高速開発

- 売上高：前期比10.0%減
- 進行する大型プロジェクト完遂に向け体制を強化
- 重点施策「マイクロアセットサービス」の開発を進行

お客様事例 クラウド&セキュリティ

公益財団法人 新国立劇場運営財団様

現代舞台芸術を上演する日本唯一の国立劇場の 基幹ネットワークをクラウドへ移行・刷新

新国立劇場運営財団様は、定期的な部門異動がある組織で、IT領域以外の人材が情報システムの担当となるため、従来のオンプレミスの環境では、ハードウェア更改や頻発するトラブル対応など、システムの運用管理が課題となっていました。そこで解決策としてクラウド移行を決断。JBCGは、「クラウド移行コンサルティングサービス」を通して、最新のサイバー攻撃に対するセキュリティ強化も含めたクラウド化全体の仕組みをトータルでご提案し、サーバーインフラにかかるコスト35%削減を実現。クラウド移行後もお客様のITインフラを24時間365日体制で支援しつつ、継続的なコスト見直し提案を行い、担当者の運用負荷を大幅に軽減しました。



(東京都渋谷区)

Voice

お客様の想いに寄り添ったサービスをご提案していきたい

「情報セキュリティを強化することで、劇場スタッフに安心して働いてもらい、来場して下さるお客様に引き続き質の高い公演を楽しんでいただきたい」そう願う新国立劇場様の思いに寄り添ったサービスをこれからもご提案していきたいです。



JBCG株式会社 営業 第三事業部
ただ けんいちろう
竹田 健一郎 さん(写真左)

お客様事例紹介

※JBCG株式会社サイトへ遷移します



当社グループでは、「人材」への投資を積極的に行い、事業戦略の実現につながる人材開発や職場環境の整備をはじめとした人材戦略を推進しています。日々挑戦し続けている社員の取り組みを紹介します。



よこやま
横山 のどか さん
J B C C株式会社
サービス事業 ITS事業部
(2013年入社)

コミュニケーション力を活かして、プロジェクトのつなぎ手として支える

金融関連システムをはじめとする、大規模案件などのプロジェクトマネージャーを担っています。最近経験したお客様の基幹システムのクラウド移行では、提案段階から約3年間全体を主導し、セキュリティ製品の導入を含めたIT基盤の再構築を担当しました。

プロジェクトマネージャーとして最も重視しているのは、**お客様とチームとの円滑なコミュニケーション**です。技術力で牽引するスタイルもありますが、私は主にコミュニケーション力を活かし、メンバーと何でも相談し合える雰囲気づくりを心がけ、チーム力を高めています。お客様にとって難解な技術的内容については、まずは自分自身が深く理解し、分かりやすくお伝えすること



で、プロジェクトの円滑な進行を支えています。困難な局面を乗り越えるには、仕事とプライベートのバランスも重要です。休日には趣味を楽しむことでモチベーションを保ち、集中力を高めています。上司やチームの支援を受けながら、**働きやすい環境が整っていることも成果につながっている**と感じています。今後はプロジェクトマネジメントに関する資格(PMP)の取得を目指し、より多様な統合案件でもプロジェクトマネージャーとして貢献していきたいです。



しまだ まい
島田 真衣 さん
J B エキスパート株式会社
人事 人材組織開発部
(2020年入社)

変化を楽しみながら前へ前例にとらわれない採用活動の実践

人事部門で採用を担当しています。当社の人材戦略の戦略的優先課題である採用をさらに強化するため、当社で活躍している若手社員が学生のインサイトにアプローチする「リクルーター制度」や、面接官向けトレーニング、評価シートの整備、採用広報動画の制作など、採用活動全体の質の向上に取り組んでいます。

会社全体が変革期にある中、未経験の領域にも積極的に関与し、**自ら手を挙げて新たな業務に取り組む姿勢を大切にしています**。人事として会社の魅力を伝えるため、チャットだけでなく対面でのやり取りも重視し、お互いの認識を合わせながら、関係者とのスムーズなコミュニケーションを心がけています。また、人事戦略を加速させるため、**組織全体としても、過去のやり方に固執せず新しい施策を展開**し、新卒エントリー数が前年比2.5倍、キャリア採用では3.2倍へと伸長するなど、いずれの採用活動においても成果がでています。

将来的には、採用領域にとどまらず、人事全体の知識を深め専門性を高めることで、人事ビジネスパーソンとして、人材組織分野において会社の成長に貢献できるプロフェッショナル人材になることを目指します。



株主様とのコミュニケーション

株主様Webアンケートご協力をお願い

株主の皆様とのよりよいコミュニケーションの実現を目指し、今後の経営やIR活動に反映させていただくため、「株主様Webアンケート」を実施します。回答方法は、封筒に同封しています、ご案内チラシに記載のURLより回答ください。回答いただきました方の中より、抽選で電子ギフトを進呈します。

※お寄せいただいた情報は、当アンケート以外の目的には使用いたしません。

回答期日 **2025年7月18日(金)まで**



抽選で
電子ギフトを
プレゼント!!

J B C Cグループ情報発信

J B C Cグループでは、様々なメディアを通じて当社の取り組みや魅力を紹介しています。noteでは、当社でいきいきと働く社員の姿を通じて、明るい社風や挑戦する企業文化を伝え、社員をはじめ学生の皆さんからご好評をいただいています。YouTubeでは、お客様事例のほか、当社ビジネスの強みを楽しく配信しています。ぜひご覧ください。



社員の日常から生まれる新しい挑戦
Jinnovation^(*)2024年実施報告

* J B C Cグループのinnovationの意の造語



「また一緒に仕事をしたい」と思ってもらいたい。クラウドサービス マーケターの“自分らしい働き方”



JBCCアカデミー、IT企業として社会に貢献。障がいをお持ちの方にも、IT企業で就労・活躍するきっかけを。



当社のSNSサイトはこちら

